

会 議 録

会 議 の 名 称	第3回 所沢市保健医療計画推進委員会
開 催 日 時	令和6年12月23日(月) 18時30分から20時00分
開 催 場 所	所沢市役所 8階 大会議室
出 席 者 の 氏 名	※別紙 「所沢市保健医療計画推進委員会委員名簿」 のとおり
欠 席 者 の 氏 名	
説明員の職・氏名	様式第2号発言者のとおり
議 題	(1) 令和6年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール(案)について (2) 第2次所沢市保健医療計画 令和5年度取組状況評価シート(案)(全章)の確定について (3) 所沢市保健・医療を取り巻く状況等について (4) 所沢市市民医療センター再整備事業について (5) その他
会 議 資 料	<ul style="list-style-type: none"> ・ 会議次第 ・ 資料1 令和6年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール(案) ・ 資料2-1 第2次所沢市保健医療計画 令和5年度取組状況評価シート(案)(全章) ・ 資料2-2 R5年度目標指標達成度一覧 ・ 資料2-3 第2次所沢市保健医療計画 令和5年度取組状況評価シート(案)(全章)説明要旨 ・ 資料3 所沢市保健・医療を取り巻く状況等について ・ 資料4 所沢市市民医療センター再整備事業について ・ 資料5 意見シート

担 当 部 課 名	健康推進部	部 長	越智 三奈子
		次 長	小山 貴之
		保健センター長	中村 まさみ
		保健医療課長	河西 秀樹
		保健医療課副主幹	佐藤 征逸
		保健医療課主査	八川 麻紗子
		保健医療課主任	小貫 由依
		保健医療課主任	日野 航介
		健康管理課長	田中 浩文
		健康づくり支援課長	岩雲 美香
		健康づくり支援課主幹	近藤 真弓
		こども未来部	
		こども家庭センター長	松井 優子
		こども家庭センター主幹	美甘 有利恵
		市民医療センター 事務部長	市川 勝也
		総務課長	粕谷 憲之
		総務課主幹	
		(市民医療センター再整備推進室長)	武政 直行
		事務局 健康推進部保健医療課	電話：04(2998)9385

※別紙 所沢市保健医療計画推進委員会 委員名簿

No.	所 属	氏 名	出欠	備 考
1	公募委員	二瓶 広和	○	
2	公募委員	碓谷 栄治	○	
3	公募委員	小野 向日葵	○	
4	公募委員	丸山 香	○	
5	所沢市医師会 会長	赤津 拓彦	○	※委員長
6	所沢市歯科医師会 副会長	北田 徳克	欠	
7	所沢市薬剤師会 副会長	塚本 京子	○	
8	所沢市柔道整復師会 副会長	吉田 南成	○	
9	所沢市鍼灸師会 会長	原澤 清一	○	
10	所沢市母子愛育会 会長	大里 節子	○	
11	所沢市食生活改善推進員協議会 会長	丸山 静香	欠	
12	所沢市スポーツ推進委員会 副会長	須藤 貢	○	
13	所沢市社会福祉協議会 事務局長	黛 浩一郎	○	
14	所沢市介護保険サービス事業者 連絡協議会 会長	米川 智裕	○	
15	早稲田大学 人間科学学術院長・人間科学部長	扇原 淳	○	※副委員長
16	知識経験者	瀬能 幸則	○	
17	狭山保健所 副所長	田島 貴子	○	
18	埼玉西部消防局 所沢中央消防署長	後藤 依左明	○	
19	市民医療センター長	黒木 康富	○	

様式第2号

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
事務局（河西）	＜開会＞
赤津委員長	（挨拶）
事務局（河西）	<p>出席者は17名で過半数を超えているため、条例の規定により委員会の成立を報告する。</p> <p>委員会については、公開とし、会議録は要約方式、発言者は委員名を記載、会議録は委員長の承認を持って確定とする。</p> <p>（配布資料の確認）</p>
赤津委員長	<p>（傍聴者確認）</p> <p>傍聴者1名に傍聴について説明。</p>
赤津委員長	<p>＜議事＞</p> <p>議題（1）令和6年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール（案）について、事務局より説明願う。</p>
事務局（佐藤）	（資料1 令和6年度所沢市保健医療計画進行管理スケジュール（案）について説明）
赤津委員長	議題（1）についてご意見はあるか。
委員一同	（意見なし）
赤津委員長	<p>ないようなので、事務局の説明のとおりスケジュールで進行する。</p> <p>議題（2）第2次所沢市保健医療計画 令和5年度取組状況評価シート（案）（全章）の確定について、事務局より説明願う。</p>
事務局（小貴）	<p>（資料2-1 第2次所沢市保健医療計画 令和5年度取組状況評価シート（案）（全章）、資料2-2 R5年度目標指標達成度一覧、資料2-3 第2次所沢市保健医療計画 令和5年度取組状況評価シート（案）（全章）説明要旨について説明）</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
赤津委員長	<p>目標指標達成度の多くはあまり変化がないが、自殺死亡率が懸案事項としては続いている。</p> <p>議題2についてご意見はあるか。内容が多いため、委員会後でも確認いただき、ご意見がある場合は、意見シートにて提出いただきたい。</p>
委員一同	<p>（意見なし）</p>
赤津委員長	<p>議題（3）所沢市保健・医療を取り巻く状況等について事務局より説明願う。</p> <p>（資料3 所沢市保健・医療を取り巻く状況等について説明）</p>
事務局（日野）	<p>次期計画策定の議論を進めるに当たり、今回は関連する計画やデータ等、今後次期計画策定に向けての議論の土台となる部分を中心にご説明した上で、アンケート調査結果等を踏まえ、現時点でお示しできる範囲で、事務局として考えている課題を資料3の最終ページでお示しした。</p> <p>次期計画策定にあたり、まずは現在の体系をベースとしつつ、議題3でお示しした内容を踏まえ、骨格となる体系案の整理が必要になる。</p> <p>今回はまだ体系案までお示しできないが、まずは委員の皆様へ資料3の最終ページでお示しした課題に対して、ご意見や感想などをいただきたい。</p> <p>また、この課題に関しては、各々の立場や視点から、資料でお示しした課題以外にも、市の現状から考えられる課題や、この場で共有しておきたい内容などもご意見としていただけると大変ありがたい。</p> <p>今回は課題の提示までとなるが、これからいただくご意見を踏まえ、次回委員会である程度次期計画の体系案に近いもの、できれば体系案までは行かなくても、次期計画のポイントや柱について、全体像が見えるような案をお示しできればと考えている。</p>
赤津委員長	<p>今後のことと、現状について、多くの情報をいただいた。議題（3）について何かご意見・ご質問はあるか。</p> <p>私がいつも申し上げているのは、計画を実施するにあたり財源の裏付けがどうかということ。市や県の計画は、講演会をやるみたいなことで終わっている場合があると思っている。実績やアウトプットについて、実際にどのようになっているのかが分からない。暮らしに困っているような人たちは、講演会などに出るような時間の余裕もないのではないか。「1人残らず救う」これは言葉としては非常に美しいが、実際は予</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
赤津委員長	<p>算がなければ何もできないのではないかと思う。</p> <p>こういう体系的な文章を作るのであれば、予算要求の段階では、こういう事業にいくら使うということが当然示されているはず。事業にかかる予算についても、市民に分かるようにするといいいのではないか。お金は無限ではなく、これからどんどん厳しくなるので、知らせないといけないと思う。</p> <p>資料3の国・県の動向には「個人の健康情報の見える化・利活用について記載を具体化」「ウェアラブル端末やアプリの利活用、自治体と民間事業者間での連携による健康づくり」とある。これは非常にスマートだと思うが、ではこれにより現在どのようなことが起きているのか、あるいは起きるであろうかということが容易に想像できる。</p> <p>例えば高齢独居で子どもは遠方という人たちに、ウェアラブル端末を持たせると、端末の情報を元に遠方の子どもから緊急通報が入り、救急車が出動したが、実際は何もありませんでしたというケースが起こりうる。これは公共で行うことではないのではないかと思う。制度設計上では、民間事業者と連携等しないと絶対に成り立たず、お金が非常に掛かる。そのため、AIやITを導入するのであれば、財源がどれくらい掛かるかを示さないといけない。</p> <p>また、住居が集中化していないと実現は不可能だと思う。病院の中ですら、ウェアラブル端末等に対してリアルタイムで反応することはできないと個人的には思っている。</p> <p>でもそれが社会のニーズであり、取り組んでいくのであれば、どれぐらいの財源が必要というのは、常に念頭に置いてほしいと思う。計画だけで終わってしまっはいけない。</p> <p>他に、皆さんのご意見はいかがか。</p>
二瓶委員	<p>ウェアラブル端末・アプリの活用について、一気に最新の道具に変えるのではなく、過渡的に緩やかに変えていってほしいとマイナ保険証移行を通じて思った。</p>
碓谷委員	<p>資料3の12ページにある自殺に関するデータについて注視したい。これから未来を担う少年・青年期の死因の第1位が自殺ということに対しては、出生率も低い現状にあっては、対策を講じるべきと強く感じる。</p> <p>検診受診状況について、若い女性は受診者が少ないというアンケート結果がある。私の職場でも組合員向けに健康診断を実施しているが、男性もなかなか受けず、配偶者も受けない。どのように受診率を増やしていくかをいつも注視し、手立てを考えている。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
小野委員	<p>5 ページに「健康に関心が薄い人を含め、本人が無理なく健康な行動をとれる環境づくり」とあるが、実際に私も健康に対して関心は薄い方だと思っている。所沢市の子宮頸がん検診などは費用が安く、健康に関心が薄いと思っている中でも受けてみようと思うので、そういった環境づくりは今後とも続けていってほしい。</p>
丸山委員	<p>アンケートの自由記載がとても興味深い。市として目指しているのは、健康寿命男女とも埼玉県内1位というお話があった。アンケートでは、やはりみんな健康に生きたいと思っているが、いろいろな理由で出来ない状況があるということを感じた。そのため、健康という言葉はとても大事だが、あまり前面に出すとそこから置いていかれる人がいるのではないかと感じた。これからのことを考えていく上で、アンケートの自由記載をもう一度市としてもよく考えて加味していただきたい。</p>
赤津委員長	<p>第2次所沢市保健医療計画を立てた時の令和5年の人口推計は、34万1,300人程で減少するとあったが、実績値は34万4,070人と減少していないのは所沢市にとって非常に良いデータ。人口推計と実績値の内訳を比較すると、14歳以下は推計値3万9,351人より実績値3万8,573人と減少しており、少子化は加速している。15歳以上の人口は推計値より増加しているため、所沢市は住みやすい土地とアピールできる。その上で幸せに過ごしていけるように考えるのが行政の役割で、その取り組みにみんなが参加しない限りは絵に描いた餅になるだろう。</p> <p>遠くの親戚よりという言葉が昔からあるが、まさにそれをやっていないとこの高齢化社会は、ウェアラブル端末では乗り切れないと思う。</p> <p>議題（3）について、専門委員の皆様からはご意見があるようなら後日意見シートの提出をお願いしたい。</p>
赤津委員長	<p>議題（4）所沢市市民医療センター再整備事業について事務局より説明願う。</p>
説明員（武政）	<p>（資料4 所沢市市民医療センター再整備事業について説明）</p>
赤津委員長	<p>私が知っている情報だと、順天堂大学の新病院の計画中止や、西部地域でも増床等建て替えの計画が大幅に遅れ、見直しを余儀なくされているケースがあるため、市民医療センターについても同じような課題があると思う。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
赤津委員長	<p>今は木材が非常に強化されていて、木材建築のノウハウができていますので、病院建設に、木材を選択するところが今後出てくるのではないかと。鉄筋コンクリートで建設するとなると、それこそ順天堂大学のように、当初見込より大幅に増額し、中止となったのと同様の現象を起こす可能性が否定できない。資料では、かなり高めに見積もってはいるが、それでもなお厳しい状況になっていくと思うので、建築資材など発想の転換も必要。防災という観点では、鉄筋コンクリートで100年持つものもいいのかもしれないが、かなりの経済負担になるということは、頭の中に入れておいていただきたい。</p> <p>結局は市民が望んでいるのか、次世代の子どもたちがその支払いをするということを考えて、事業を進めることになるかと思う。議会で議論し、事業の進行について判断するのだと思うが、来年度の予算は決まっているのか。</p>
説明員（市川）	<p>来年度の予算については、毎年3月議会で審議される。建設工事は令和8年度からとなるので、まだ今年度の3月議会では建設工事費についての議案提出はない。</p>
赤津委員長	<p>3月議会の審議でも、12月ぐらいには次年度予算の概要は確定していると思う。オープンにできるような状況になったら、また議題にのせていただきたい。</p> <p>議題（4）について他にご意見はあるか。委員会後にご意見があれば、意見シートを提出いただきたい。</p>
赤津委員長	<p>議題（5）その他について事務局から何かあるか。</p>
事務局（佐藤）	<p>特にない。</p>
赤津委員長	<p>残りの時間は、皆さんからご意見があればいただきたい。</p>
大里委員	<p>高齢者の健康寿命を延ばすことについて、運動はしたくとも、教えてくれるところがない。もう少し運動できる場所を作ってほしい。</p>
赤津委員長	<p>取り組みがあっても情報がうまく伝わっていないというところを含めてのことかと思うが、所沢市スポーツ推進委員会の須藤さんのご意見はいかがか。</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
須藤委員	<p>我々がやっていることを広く告知しないといけないと感じた。いろいろ取り組みはあり、若い人たちは参加している。今推奨しているのはモルックという競技で、先日も教室と大会を開き、子どもからお年寄りまでかなり参加していただいたので、もう少し広げて提供していきたい。</p>
赤津委員長	<p>現場をご存知の社会福祉協議会の黛さんは何が課題と思うか。</p>
黛委員	<p>いろいろあると思うが、例えばテレビを観ても、おいしいものを紹介する番組が多くあり、影響を受けて太ってしまうなどの悪いサイクルが非常にある現状で、正しいことを示して健康にどう結び付けるかには興味がある。</p> <p>資料3のアンケートで、幸福度が悪くない結果があるのは良いこと。ただ、5年後、10年後、その先となるとどうなるのかは少し気になるところである。</p> <p>社協としては、公共の福祉サービス等がない狭間の福祉に取り組んでいる。制度にないものを住民の力で何とかしようという立場で、何ができるかというのは、今後の委員会の中でも意見ができたらと思う。</p>
赤津委員長	<p>女性やメンタルについては、保健所をご存知のところだと思うが、田島さんのご意見はいかがか。</p>
田島委員	<p>保健所でも女性の健康づくりというところは気になっている。仕事をしていると職場で健診があり、雇う側は受けさせることが義務であり、従業員は受けることが義務という縛りがあるが、家庭にいる主婦や若い層は、情報や機会、時間がないことが、受診状況に影響していると思う。</p> <p>子育て中は、お子さんの方がどうしても優先になるため、お母さんの健康を守ることに関心が向くといいと思っている。</p> <p>子宮頸がんなどは若い人が多いので、早めの健診受診等の啓発活動が、どれだけ必要な人に届けられるかが、現在の取り組みの課題だと思う。</p> <p>メンタルに関しても、インターネット等の情報から、自分が気に入った情報だけに飛び付く方がいることから、正確な情報を必要な時に届けるには、どうしたらいいのかと日々考えている。</p> <p>自殺対策に関しては、サポーターにならなくてもいいので、周囲の方が何か違うなと思った時に声を掛けていいのだという気持ちの醸成をどうしたらできるのかと考えている。</p> <p>認知症に関しても、全部が全部分からなくなっているわけではなく、</p>

発言者	審議の内容（審議経過・決定事項等）
田島委員	<p>刺激が入ることで、少し活性化すると、今までやっていたことはそのまま続けられるといったことが分かってきたので、その辺の正しい情報を周知し、その人に合った対応ができるようになったらいいと思う。</p>
赤津委員長	<p>各委員にご意見いただき感謝する。</p> <p>今だけ金だけ自分だけの考えでは、共同社会は成立しなくなるので、しっかりと取り組んだ方がいい。</p> <p>最後に学術面で、若い学生の一番近くにいる扇原先生の視点からご意見をいただきたい。</p>
扇原副委員長	<p>アンケート結果について、非常に興味深く拝見した。</p> <p>市民医療センターの計画について、ウェルネスパークとあるが、財源は非常に慎重に考えないといけない。市民医療センターや保健センター、ウェルネスパークがあることで人口が増えることもあると思う。そういう意味では初めの思想・哲学を大事にしていきたい。その上で、ウォーキングする場所や、屋上のリハビリなどはすごくいいと思う。</p> <p>資料のアンケートでも、人とのつながりがキーワードにあるので、ウェルネスパークはつながりを生むようなものであってほしい。例えば入院や検査時に、家族とご飯を食べる場所がない印象を持った。健診や病気の時に、健康を一番意識すると思うので、例えば所沢の有機野菜が入った減塩のランチボックスがあって、その時のレシピも分かれば、退院後の食事の参考にもなる。</p> <p>保健センターも、子どもとお昼を食べられたら、憩いの場になる。ここで朝市などがあると、人がいつでも集まり、病気でなくてもいつでも市民を見守ってくれるというのが、まさにウェルネスパークだと思う。</p> <p>医療と保健の両輪をつなぐ建物や拠点になってほしい。その可能性がある図面だと思うので、議会で予算審議などもあると思うが、未来につながるような施設になってほしい。</p>
事務局（河西）	<p>貴重なご意見をいただき感謝する。計画策定もいよいよ本格的なところに着手することになる。血の通った計画としていくためにも、忌憚のない、また活発なご意見をいただきたい。</p> <p>以上をもって、令和6年度第3回所沢市保健医療計画推進委員会を閉会する。</p> <p><閉会></p>